

平成 29 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 柿本 敏男  
 (コード番号 2531 東証 第1部)  
 問 合 せ 先 IR 部長 掛見 卓也  
 T E L ( 0 7 5 ) 2 4 1 - 5 1 2 4

平成 29 年 3 月期 連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 11 月 10 日に公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想ならびに平成 28 年 5 月 9 日に公表した配当予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 11 月 10 日発表)	234,100	12,600	13,300	8,200	40 円 75 銭
今回修正予想 (B)	234,100	13,100	13,800	8,300	41 円 25 銭
増 減 額 (B-A)	0	500	500	100	-
増 減 率 (%)	0.0	4.0	3.8	1.2	-
ご参考:前期実績 (平成 28 年 3 月期)	225,364	11,680	12,840	7,055	35 円 06 銭

(2) 修正の理由

連結売上高につきましては、宝酒造グループ、タカラバイオグループともにほぼ計画通りに推移しており、前回発表予想を据え置くことといたします。

利益面では、宝酒造グループでは国内酒類事業が順調に推移していることに加え海外子会社が計画を上回る見通しであり、またタカラバイオグループでは遺伝子医療に関する収入等により計画を上回る見込みであることから、連結営業利益を 500 百万円 (4.0%)、連結経常利益を 500 百万円 (3.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益を 100 百万円 (1.2%)、それぞれ上方修正いたします。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年5月9日)		12円00銭	12円00銭
今回修正予想		13円00銭	13円00銭
当期実績 (平成29年3月期)			
前期実績 (平成28年3月期)		12円00銭 (普通配当11円00銭) (記念配当1円00銭)	12円00銭 (普通配当11円00銭) (記念配当1円00銭)

### (2) 修正の理由

当社は、健全な財務体質を維持しながら、資本効率を意識し、利益成長のための重点戦略への積極的な投資と、適切な株主還元を実施することを財務の基本方針としております。

また、具体的な株主還元方針としては、連結営業利益の水準に応じて増配する方針とし、配当総額の税引後営業利益に対する比率を「\*みなし配当性向」として、30%を目安に配当を行うこととしております。さらには、資本効率の向上に資する自己株式取得についても、状況に応じて機動的な実施を検討することとしております。

前述の業績予想の修正および上記の株主還元方針に基づき、平成29年3月期の配当予想を1株当たり13円に修正いたします。

なお、平成29年3月期の配当金につきましては、平成29年6月開催予定の第106回定時株主総会に付議する予定です。

$$\text{*みなし配当性向} = \text{配当総額} / (\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})) \approx 30\%$$

また、本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証一部)も、平成29年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正発表をおこなっております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、これらの数値とは異なる可能性があります。

以上

#### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。